第37回日本木管コンクール
（フルート部門）
会場：東条文化会館コスミックホール
発行日　2026年11月1日（日）
（第4号）　夕刊

ほっとねっと

発行：日本木管コンクール委員会
〒673-1311
兵庫県加東市天神66
TEL0795-47-1500

第37回 日本木管コンクール フルート部門 最終結果



第３位

山下 菜々さん



第２位

色島 茉里奈さん



第１位

コスモス賞

若狭 知恵さん



第３位

髙須　蘭さん



第５位

成　希蘭さん

受賞おめでとうございます





高木綾子審査委員長 講評



皆さん今日は５人の演奏をお聞きいただきありがとうございました。

このコンクールは私も30年前に初めて受けましたが、ここから、世界へフルーティストたちが巣立っていくのを見てきました。

何度も何度も受けてやっとここまで這い上がってこられた人も、1次・2次に落ちてしまった人もたくさんいますが、またチャレンジして、この舞台に立ってもらうことを切に願っています。

全体の感想として、毎回、フルーティストの皆さんのレベルが上がっていると感じます。ただ、緊張して速く吹いてしまうので、自分の心拍数に対してどうやってテンポをキープできるかを考え、普段の練習に取り組むべきと感じています。

曲は全て、音階であったり、和声であったり、音の色味であったり、語りが含まれていると思いますが、一人でも、二人でも、オーケストラと一緒でも、そこを敏感に感じて音楽を創っていってほしいと思います。

このコンクールを支えて下さったスタッフの皆さん、“新しい風かとう”の方々にお礼を申し上げます。今日のコスモス賞審査員の方々、中学生のボランティアの方々、本当に心和ませて頂きありがとうございました。

賞	エントリーNo.	氏　名	出身校	伴奏者
第１位	３	若狭　知恵	国立音楽大学　卒業	金澤 みなつ
第２位	２５	色島 茉里奈	相愛大学　卒業	寺島　千紘
第３位	２０	山下　菜々	愛知県立芸術大学大学院　在籍	金澤 みなつ
第３位	６３	髙須　蘭	東京藝術大学　在籍	黒岩　航紀
第５位	３３	成　希蘭	相愛大学大学院　修了	寺島　千紘
コスモス賞	３	若狭　知恵	国立音楽大学　卒業	金澤 みなつ

第37回日本木管コンクール
（フルート部門）
会場：東条文化会館コスミックホール
発行日　2026年11月1日（日）
（第4号）　夕刊

ほっとねっと

発行：日本木管コンクール委員会
〒673-1311
兵庫県加東市天神66
TEL　0795-47-1500

受賞者コメント

第１位　コスモス賞



若狭　知恵さん

この度は本当に名誉な賞を頂きましてありがとうございました。

私は前回このコンクールで第３位でした。もう一度リベンジということだったのですが、この木管コンクールは大学生の頃からたくさん何度も何度もチャレンジしてきたコンクールで、本当にこのような賞がいただけると思っていなくて本当に嬉しいです。ありがとうございます。

本当にこのコンクールは、ホールも素晴らしくて、審査員の先生方も豪華で素晴らしく、ボランティアの方々、スタッフの方も温かくて、とても安心して受けられるコンクールで、私も大好きなコンクールでした。そこで、本当に１位を頂けて、夢のような、今は感無量の気持ちです。本当にありがとうございました。

第37回 木管コンクールを終えて

加東市教育長　藤原路寛

今年もこの素晴らしいホールで、「日本木管コンクール（フルート部門）」が開催されましたこと、心よりお喜び申し上げます。



コンクール初日に訪れ聴かせていただきました。フルートのやわらかく清純な音色は、まるで鳥の鳴き声を想起させるようで、私はその響きが大好きです。このホールの豊かな音響とも見事にマッチし、聴衆である私たちに深い感動を与えてくれました。

また、普段あまり音楽に触れない私にとっても、会場に響く美しい音色は心のオアシスとなり、とても癒やされたひとときとなりました。本当にありがとうございました。

今大会も、未来の音楽界を担う多くの若きフルート奏者たちが集結しました。出場者の皆様におかれましては、この日のためにひたむきに練習を重ね、ご自身の音楽と真摯に向き合ってこられたことと存じます。本番の舞台では、その日々の努力の成果が存分に発揮され、会場全体が素晴らしい熱気に包まれました。

未来ある原石たちが、これからどのように輝きを増していくのか、私たち市民にとっても大きな楽しみであり、心より応援しております。

結びに、当コンクールの開催にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました審査員の皆様、ボランティアの皆様、そして関係者の皆様の温かいサポートに、深く感謝申し上げます。

コスモス賞審査員の声★感想　審査員73人

○透明感のある音色にうっとりしました。現代曲という理解しづらい曲も自分のものにされており、素敵だなあと思いました。
○柔らかいトーンのフランス音楽と日本の現代曲。武満さんの「ヴォイス」は、人の声も交えた緊張感のある演奏がホールに豊かに響き、対象的な2曲を楽しめました。
○フルートがこんなにも表現力のある楽器と改めて認識させられました。今年は音色が素晴らしかったように思う。曲のせいかな？
○ホールの響きが良く，演者の息の音も細かいところまでよく聞き取れました。声とも音とも分からぬような楽器と演者がひとつになるこの曲の素晴しさを、このホールならではの響きで楽しむことができました。一人ひとりの個性が音に出るので、同じ曲でも違う曲に感じてしまう。不思議というか、色々あって、面白く鑑賞できた。
○表現力が決めてになったと思う。「ヴォイス」で、消えていく音がホールに留まった様に聴こえた。また、フルートを太鼓のように叩く表現をした方がいたのが印象的だった。「ヴォイス」で個々の差が感じられたように思った。



審査員 特別演奏会



7人の審査員の先生方によるアンサンブルは、まさに七色の音色が織りなす美しい世界でした。それぞれの個性豊かな音色が響き合い、豊かな表現と素晴しいハーモニーに心を奪われました。七人だからこそ生まれる彩り豊かな響きに、深い感動を覚えました。

審査員 個別講評



編集後記

第37回日本木管コンクール（フルート部門）も、審査員の先生方、並びに、公式伴奏者の方々、出場者の皆様、そして後援・協賛各位をはじめ、多くのボランティアの皆様のお力添えにより、お陰様で無事終えることが出来ましたこと、改めまして厚く御礼申し上げます。

そして、今年も、東条学園小中学校の生徒ボランティアの皆さんによる取材などの参加協力を得て、「ほっとねっと」の紙面の充実を図ることが出来ました。

出場された方からは、「響きが吸われてしまうホールがある中で、このホールは音が返ってきて、音が届いている安心感がある。」「自分の音が返ってくる感じがあり、気持ち良く吹けました。また、「ホールの響きが素晴らしいと聞いていた憧れのホールです。」など嬉しいお声をいただき、私たちボランティアも充実感と共に、長年続けてきたこのコンクールにより、「コスミックホール」と共に「加東市」を知っていただけたのではないかと感じています。

出場者の皆様には、このコンクールから、未来へ、世界へと羽ばたくアーティストになっていただきたく願っております。

このコスミックホールは、「NPO法人新しい風かとう」が、加東市から指定管理を受け運営していますが、創る喜び、あふれる感動、息づく文化の拠点として、これからも愛され親しまれるホール運営に努めてまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。（ほっとねっと編集部D）

～加東市ふるさと納税（ふるさと応援活動支援金）のご協力をお願いいたします～
特定の団体（支援希望団体）に対する寄付の受付を開始しています。
QRコードをスマホ等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、
ホームページからダウンロードできます。特定の団体（支援希望団体）については、「特定非営利活動法人　"新しい風かとう"」にお願いします。
詳しくはホームページをご覧ください。また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人"新しい風かとう"」のホームページをご覧いただけます。